

# 青山大人(あおやまやまと) 県議会報告かわら版52号



平成 25 年 10 月 7 日発行 青山大人事務所 土浦市乙戸 801-2

電話 029-828-7011 FAX 029-828-7012 メール [info@aoyamayamato.net](mailto:info@aoyamayamato.net)

★フェイスブックでは、日常の活動やプライベートについて公開しております。また、メールにて、ファックス番号を送って頂ければ、毎月一回確実にお手元へ議会報告が届きます。

## ～青山大人(あおやま やまと)の略歴～

1979年土浦市生まれ。現在34歳。荒川沖小、土浦三中(陸上部主将)、土浦一高、慶応義塾大学経済学部卒。2006年12月に県議会議員初当選(当時、全国最年少の都道府県議会議員)。2010年12月の県議会議員選挙にて2期目当選。2008年1月に第21回日米青年政治指導者交流プログラム日本代表団に選抜される。街の活性化のため映画ロケを地元へ誘致するなど議会以外でも精力的な活動を展開。東日本大震災時は翌日から市内の水道復旧状況等をいち早くブログで情報発信し、一日での閲覧者が最大35000件を記録。また、福島県や宮城県への被災地支援活動が新聞等で大きく掲載される。現在、県議会農林水産委員会委員、予算特別委員会委員、議会運営委員会委員、土浦市消防団第27分団員(土浦市操法大会へ4度出場)。

### ●県議会第3回定例会が開会。

県議会が10月3日から開会しました。会期は約1カ月です。例年、9月に行われますが、今年は知事選挙があったので1カ月ずれ込みました。これまで同様、青山は農林水産委員会、議会運営委員会を担当し、さらに予算特別委員会において会派を代表しての質問をするので、この原稿を書きながら、現在質問の準備をしております。

### ●知事の所信表明。

知事選後初めての県議会なので、開会日の冒頭、知事から所信表明がなされました。知事からまず、東日本大震災からの復旧・復興について、道路、港湾などのインフラや県有施設の復旧を本年度中に完了するという目標が掲げられ、観光、農業、漁業に対する風評被害払拭に向けてのさらなる取り組みが述べられました。

そして、「いばらきづくりの基本は人づくりにある。しっかりとした知識や判断力、思いやりの心や責任感を身につけ、自立して主体的に行動できる人間の育成を目指す」と述べられ、少人数教育の拡充や英語・理数科教育の充実など具体的政策に言及されました。この点については、青山も目指す方向は同じであります。

さらに、来年度に予定されているJR常磐線の東京駅乗り入れについても、「1本でも多くの乗り入れが図れるよう努める」と決意されました。

### ●復興や雇用対策中心の補正予算案。

補正予算案の中身については、東日本大震災からの復旧・復興や雇用対策に重点を置いた総額約115億円規模で、特に風評被害対策や防災体制の強化、雇用創出事業の追加などが主な内容です。

その他、県少子化対策審議会を設置する条例案などが18件です。

### ●東京五輪の前年に茨城国体。

先月、2020年(平成32年)の第32回夏期オリンピック・パラリンピックの東京開始が決定しました。まだあまり知られていませんが、その前年(2019年・平成31年)には、第74回国民体育大会が茨城で開催されます。

そこで、現在、県民の皆さま総参加の機運を盛り上げるためにも、県民の皆さまに愛されるとともに、茨城の魅力为全国に発信できるような大会の「愛称」と「スローガン」を募集しております。最優秀賞には5万円の賞金及び賞状が授与されます。詳細については裏面に記載してあります。是非、応募してみてくださいはいかがでしょうか。

### ●親や仕事の大切さを知る機会に。

働きたいが就職がないという相談がある一方、小売業、介護などでは人が集まらないといった相談も寄せられております。学生の時に、もっと親や大人が働く姿に接することや働くことの大切さ、社会で自立し仕事を通じて社会に貢献できることをもっと身近に感じてもらうことが必要なのではないだろうか。土浦市で行っている中学校2年生を対象にした職場体験は、とてもいい事業だと思います。私自身、一人の中学生を受け入れました。

千葉県では、平成19年から千葉県内での民間企業や事業所、官公庁などに、子どもたちが職場を見学したり、仕事を体験する「子ども参観日」という事業を行っております。全国的に見ても同様の取り組みを行っている自治体も多くみられ、茨城県でも取り入れられないかと考えております。